

東邦大学医療センター大森病院

からだのとしょしつ だより

13号 2012/ 6/ 1



【資料の紹介】 おすすめの一冊

「クローン病と潰瘍性大腸炎の総合雑誌
CC JAPAN (シーシー・ジャパン)」
(株)三雲社発行 隔月刊 (年6回)

- 炎症性腸疾患 (IBD) 患者さんのための生活情報誌です。
- 専門の医師, 看護師, 薬剤師による, 治療やお薬, 食事についてのわかりやすい解説が載っています。また, 全国各地の患者会の紹介や, 治療中の患者さんの体験談もあります。それぞれ個性的で, 読めば元気が出てきそうです。
- 最新号 (67号4月25日発行) では, 特集: 世界のIBDと題して, ヨーロッパの状況を紹介しています。
- A5版, 平均90頁, 写真やイラストも多く, 読みやすい小冊子です。
- 最新号とバックナンバー5年分をご覧いただけます。(10)

東京女子医科大学「からだ情報館」を見学しました



「からだのとしょしつ」ボランティアグループは, より積極的な活動をするために, 学習会や他院のボランティア活動の見学会などをおこなっています。今回は, 2012年3月24日に東京女子医科大学「からだ情報館」を見学しました。

「からだ情報館」は患者図書室の草分け的存在で2003年から開室しています。1階外来センターと同じフロアーにあり, 喧騒と隣り合わせの場所です。しかし一歩室内に入ると, 静かな居心地の良い場所でした。

スタッフは全体のコーディネートや情報検索支援を担当する司書と, 医療相談を支援する看護師という体制です。「からだ情報館」からの情報発信としては広報紙の発行や, 一般向けの講演会を東京女子医科大学の医師を講師として開催しています。資料は一般向けの医学書や雑誌, 医学ビデオ, 医療情報のパンフレットがありました。

特にパンフレットは、展示している場所も種類もとても充実していました。さっそく当室にも置きたいものを、チェックさせていただきました。また、新聞の切り抜きの提供の仕方も掲示板を使っているところなど、参考にすべきことがありました。

他の病院を見学することで、日々の活動からは気づかなかったことに気づかされました。また、東邦大学大森病院の「からだのとしょじつ」の優れたところを知る事が出来る、大変良い機会でした。今後もこれを機にますます充実した、利用者に役立つ「からだのとしょじつ」をめざして、色々な工夫をしていきたいと思いました。

最後に東京女子医科大学図書館「からだ情報館」担当の方にはお忙しいにもかかわらず快く案内していただき本当に感謝いたします。また「吉岡彌生記念室」も見学させていただき、とても有意義な見学会でした。(Ok)

◆なのはな文庫のご案内◆

- ◇毎週火曜日の午後、病棟のテイルームや外来待合エリアなどを巡回して、本棚の本の整理をしたり、新しい本を補充するボランティア活動です。
- ◇一人でも多くの患者さんに、本を読まれることで日々の時間に安らぎと癒しを感じて頂けたらと思って活動しています。
- ◇なのはな文庫の活動は、からだのとしょじつボランティア活動の一環としておこなわれています。
- ◇医学情報が欲しいときは、からだのとしょじつ、医学書でない、ふつうの本が読みたいときは、なのはな文庫をご利用ください。

◆囲碁・将棋のお相手◆

- ◇今年から、入院患者さんの囲碁・将棋のお相手をするボランティアグループが活動を開始しました。
- ◇対局を希望される患者さんは、病棟師長にお申し出ください。

◆ボランティアをご希望の方は◆

東邦大学医療センター大森病院のホームページ>病院ボランティアをご覧ください。

編集・発行：からだのとしょじつ

東邦大学医療センター大森病院 2号館 3階
開室日時：9:30 - 16:30 土・日・祭日、年末年始はお休みです。
WEB版「からだのとしょじつ」でも資料と探し方のご案内をしています。
<http://www.mnc.toho-u.ac.jp/mmc/karada/>